

## リバティ・アライアンス、 Web サービスの標準仕様 ID-WSF 2.0 の最終版を発表

～ 個人ユーザーにはより安全でプライバシーに配慮したソーシャル・ネットワークを、  
企業にはより展開が容易なアイデンティティ・ベースの SOA を構築するための  
フレームワークを提供 ～

[2006年10月4日(米国時間) Liberty Alliance 発表]

世界から 150 以上の組織が参加する世界規模のアイデンティティ管理コンソーシアム「リバティ・アライアンス」は、Web サービスの標準仕様「ID-WSF 2.0」の最終版をリリースしたことを発表しました。ID-WSF 2.0 は、プライバシーに配慮した相互運用可能な Web サービスおよびサービス指向アーキテクチャー (SOA) を構築および管理するためのフレームワークです。

今回発表された ID-WSF 2.0 最終版では、従来にも増して多くの業界標準仕様がサポートされています。開発者、企業、システムインテグレーターは、広く採用され相互運用性の実証されている Liberty Web Services 標準仕様に基づき、優れた Web サービスをより迅速に構築することが可能になります。今回のリリースには、業界初のユーザー中心型 Web サービス・プロトコルである Liberty People Service™ も含まれています。これにより、ユーザーが関係するネットワークを、プライバシーに配慮した信頼できるセキュアな方法で、複数のソーシャル・アプリケーションにわたり管理することができます。

リバティ・アライアンスは、すべての会員と協力し、明確に定義されたビジネス要件および用途に基づいてアイデンティティ標準仕様を開発する、唯一のグローバルなアイデンティティ管理組織です。リバティ・アライアンスでは標準仕様の開発に先立ち、必ずビジネス要件を明確化するプロセスを設けています。そのため、Liberty Web Services はこれを採用する世界中の組織やユーザーのアイデンティティ管理に対する実際のニーズにもすぐに対応が可能です。なお、ID-WSF 2.0 最終版の発表とあわせ、この Web サービス標準仕様開発のもととなった用途や市場要件も以下のサイトで公開しています。  
[http://www.projectliberty.org/liberty/strategic\\_initiatives/requirements](http://www.projectliberty.org/liberty/strategic_initiatives/requirements)

Liberty Web Services は、アメリカン・エクスプレス、AOL、フランス・テレコム、ノキア、ボーダフォン、およびフィンランド、フランス、ノルウェーの各国政府などに採用されています。これら実際の導入事例がリバティ対応のアイデンティティ管理製品およびデバイスの伸びを後押しし、今年はその数が 10 億を越えるとリバティ・アライアンスでは予想しています。リバティのオープンなアイデンティティ管理仕様を採用している組織の一覧は、<http://projectliberty.org/liberty/adoption> でご覧いただけます。本日発表された ID-WSF 2.0 の機能の特徴は以下の通りです。

## より安全なソーシャル・ネットワーク

ID-WSF 2.0 には、業界初の非プロプライエタリでユーザー中心型 Web サービス用フレームワークである Liberty People Service が含まれます。これにより、個人ユーザーや組織は、連携ソーシャル・ネットワーク上でブックマーク、ブログ、カレンダー、電子メール、写真データの共有、インスタント・メッセージなどのソーシャル・アプリケーションやエンタープライズ・アプリケーションの管理が可能になります。Liberty People Service を利用することで、個人ユーザーは友人、家族、同僚などとのオンライン上での関係を容易に保存、維持、分類でき、別のソーシャル Web サービス・アプリケーションでの個人情報ユーザーの承諾やユーザーが設定したプライバシー制御に基づいて利用することができます。このようなユーザー中心の機能が追加されることで、個人ユーザーや企業ユーザーをフィッシング、ファームウェア、ピッシングなどオンライン上のアイデンティティ窃盗から強力に保護します。

## SOA 対応

セキュアでプライバシーに配慮した ID-WSF 2.0 は、相互運用可能で非プロプライエタリな、信頼性に優れた SOA の展開と管理を可能にするフレームワークを提供します。実証済みの相互運用性を備えた Liberty Web Services に基づき、順応性と柔軟性に優れたセキュアなアイデンティティ・ベースの SOA を実装したいと考えるすべての組織で利用することができます。ID-WSF 2.0 の仕様はそのままフレームワークとして使用でき、ユーザー中心の制御機能、アプリケーション・レベルのセキュリティと信頼性、中核となるプライバシー保護機能を備えた SOA の実装をすぐに開始できます。

## 実証済みの相互運用性

リバティ・アライアンスは、ベンダーから提供される製品がアイデンティティ標準仕様に対して相互運用性を備えているかどうかを検査する唯一のグローバルなアイデンティティ管理組織です。リバティ・アライアンスが 2003 年の Liberty Interoperable™ プログラム開始以来実施している試験には、これまでに世界中のベンダーから提供される製品が合格しており、その数は約 75 製品に上っています。Liberty Web Services の相互運用性試験には、Gemalto、Epok、HP、Sun Microsystems、Novell、Nokia、NTT、および Symblabs などの企業が合格しています。なお、ID-WSF 2.0 の第 1 回相互運用試験は、12 月 4 日の週にフランスで行われる予定です。

## あらゆるトランザクションに対応するプライバシー保護機能 / セキュリティ / 信頼性

ID-WSF 2.0 は、アイデンティティ・ベースのあらゆるオンライン・トランザクションをサポートする設計となっています。基本的な認証要件から、エンタープライズ、金融、政府機関向けの各アプリケーションに求められる相互運用性、プライバシー保護、およびセキュリティなどの高度な要件にも対応し、個人ユーザー、企業、政府などのために業界で最も総合的なフレームワークを提供して、より安全な Web サービス・トランザクションを実現します。

## Web サービスの各種標準仕様の融合

ID-WSF 2.0 最終版のリリースにより、Liberty Web Services では SAML 2.0 のサポートが拡張され、以下のことが可能になりました。

- ・ SAML 2.0 を組み込んだセキュリティ・トークンとしての利用
- ・ WS-Addressing を組み込んだ非同期メッセージング機能の実現
- ・ 新しいサブスクリプションと通知機能の利用による、プッシュ・モデルの実現と属性の共有
- ・ アイデンティティ・トークンのサポートにより、構造化されたメカニズムの構築とネットワーク内のユーザー参照

### **産業間共通のオープンなクロスインダストリー・フレームワーク**

ID-WSF 2.0 には、Directory Access Protocols、Contact Book、Geo-location、Presence、および Mobile Messaging など、各社が提供する Web サービス・アプリケーションをサポートするオープンなインターフェース仕様が含まれています。

### **リバティ・アライアンスについて**

リバティ・アライアンスは、連携ネットワーク・アイデンティティや相互運用可能な強力な認証およびWebサービスを実現するオープンな標準技術の開発に取り組むグローバルなアライアンスで、さまざまな企業、非営利組織、政府機関で構成されています。Liberty Federation およびLiberty Web Servicesは、個人および組織のユーザーがオンラインのアイデンティティ情報を、プライバシーに配慮したより便利でセキュアな方法で管理することを可能にします。Liberty FederationおよびLiberty Web Servicesを採用している組織は、<http://www.projectliberty.org/about/marketadoption.php>をご覧ください。リバティ・アライアンスのマネジメント・ボードは現在、AOL、Ericsson、Fidelity Investments、France Telecom、General Motors、HP、IBM、Intel、Novell、NTT、Oracle、RSA Security、およびSun Microsystemsの各社の代表者で構成されています。リバティ・アライアンスには、すべての営利団体および非営利団体に入会いただけます。

### **本件に関する報道関係者からのお問い合わせ**

リバティ・アライアンス・プロジェクト 広報担当  
株式会社プラスワン・コミュニケーションズ  
池田 明 / 田中 義之  
TEL:03-3443-1007 FAX : 03-3443-1008  
E-Mail : liberty-pr@plusonecomm.co.jp